６　本時の学習

（１）本時のねらい

・コロの心の変容を読み取ることを通して，素直に生活することで心が晴れ晴れすることに気付き，素直に謝ろうとする心情を育てる。

（２）本時の展開

	活動内容・予想される児童の反応	教師の支援・評価・研修との関わり 支援●評価□研修との関わり◎
体験を想起する	**１　謝りたいけれどなかなか謝れなかったことがあるか，体験を想起する。** 〇謝りたいと思っているのに，なかなか謝れないということがありますか。 ・ある　・ない 〇その時，結局謝ることはできましたか。 ・できた　・できなかった。 ※　事前にとったアンケート結果を知らせ，道徳的価値への意識につなげる。 ≪価値への意識づけ≫ 謝りたいけれど謝れない時，どうしたらよいのか考えよう。	●謝りたいけれど謝れなかった経験を想起させ，素直になれない瞬間があることをつかませる。 ●考えを創造する場面でも活用できるように板書する。 ◎事前にアンケートを取ることで問題意識をもたせ，価値への意識づけへとつなげる。
心を耕す	**２　資料「お月さまとコロ」を読んで話し合う** コロがどんな子か確認する。 〇コロはどんな子でしたか。 ・すぐに怒ったり，文句を言ったりする。　・友達がいない。 ・意地悪。　・わがまま。 ・謝ることができない。　・（素直じゃない。） ギロに謝ろうかどうか迷うコロの気持ちを考える。 〇コロの心の中にある二つの心とはどんな心でしょう。 ・あやまろう。　・あやまらなくてもいんだ。 〇二つの心のどちらが多いと思いますか。 ・謝ろう～言い過ぎてしまったから。　友達がいなくなってしまうから。 ギロを傷つけてしまったから。　自分も嫌な気分。 ・謝らなくていいんだ～コロはわがままだから。 謝らなくても，許してもらえるかもしれないから。 〇コロはわがままで意地悪なはずなのに，どうしてこんなに悩んでいるのだろう。 ・ギロに悪いことをしてしまったと思っている。 ・自分のわがままがよくないことをわかっている。 ・本当は，悪い子ではない。 ・素直になれないだけ。 心が晴れ晴れとし，ギロに謝ろうと心に決めるコロの気持ちを確認する。	●教師が全文通読をする。 ●資料の内容を理解させるために，児童に前もって読ませておく。 ●コロの気持ちに共感させていくために，コロの人物像を確認する。 ●「素直じゃない」と思ったのはなぜか理由を確認する。 ●コロの心の葛藤を確認し，謝りたくても謝れない素直になれない気持ちを共感的にとらえさせる。 ●前半で「素直じゃない」について確認していない場合，ここで確認する。
考えを創造する　発信する	◎どうしてコロの心は晴れ晴れとしてきたのでしょう。 ・はずかしかったけれど，勇気を出して歌ってみたから。 ・歌ってみたいという気持ちに，正直になったから。 ・素直になったから。 〇心が晴れ晴れとしたのは，コロだけでしょうか。 ・ギロやお月さまも，晴れ晴れ。 **３　自分の心と向き合い，価値を深める** 〇素直になってよかったなと思ったことがありますか。 ※　事前にとったアンケート結果の内容を例にあげ，再度考えてみる。 ※わたしたちの道徳を用いて，１年生の時の自分を振り返る。 **４　本時のまとめをする** ≪価値に対する見取り≫ 謝りたいけれど謝れない時，これからどうしていこうと思うか。	◎自分との対話 ノートに自分の考えを書く。 □道徳的心情（ノート） 自分の気持ちに素直になることの大切さを感じることができる。 ◎相手との対話 ペア交流や全体交流を通して，友達の意見を聞き，考えを深める。 □道徳的判断力（発表） 心が晴れ晴れとし，明るく生活するための判断ができる。 ●素直になってよかったと感じたプラスの経験を想起させながら，価値を深める。 ◎自分との対話 これからの生活でどのようなことを心がけていきたいか，ノートに書く。 □道徳的実践意欲（ノート・発表） 素直な心で接し，友達や家族と明るく生活していこうとする意欲を高める。

（３）本時の評価

・コロの心の変容を読み取ることを通して，素直に生活することで心が晴れ晴れすることに気付き，素直に謝ろうとする心情をもつことができたか。（発表・ノート）